平和発信事業

ヒロシマの孫たち2026
The Grandchildren of Hiroshima

ヒロシマの孫たち

「あなたの子どもの頃について聞かせてもらえませんか」
あの当時、広島で起きていたこと。今、起きていること。
これから、そして、ここから、私たちが伝えていくべきこと。
私たちは広島に居る。だから広島の声を届けたい。
きっと、それぞれの街に、国に、声があるはず。それを聞きたい。
今、世界が手をつなげたら･･･それを願って。

8月1日(土) 開演① 14:00　② 18:30
8月2日(日) 開演① 11:00　② 15:00
(開場は開演30分前です)

JMSアステールプラザ 2階多目的スタジオ
広島市中区加古町4番17号

一　般　**2,000円**
18歳以下　**1,000円**　※全席自由　未就学児は無料

【チケット取り扱い】
NPO法人子どもコミュニティネットひろしま　TEL: 082-231-8015
JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ　TEL: 082-244-8000

主催　NPO法人子どもコミュニティネットひろしま　共催　(公財)広島市文化財団 アステールプラザ
後援　広島市教育委員会　企画・製作 ヒロシマの孫たちプロジェクト

あなたにとって、本当に大切なものとは..

この舞台は実話をもとに創られています。

広島の被爆者の方々が広島の子どもたちのインタビューに答え、
戦時中の暮らしのこと、原爆投下された時のこと、
そして、次世代の子どもたちへ伝えたい想いを語ってくださいました。

インタビューをした子どもたちとちょうど同い年くらいだったころの記憶。
戦時中で何もなかったけれど、楽しかった友達とのこと、家族のこと。
兵役のこと。戦争で叶えられなかった夢のこと。
原爆投下でズタズタにされた悲惨な光景、その後のこと。
そのインタビューをもとに作られたのが「ヒロシマの孫たち」です。

劇中では被爆者の方々の生の声、インタビュー音声も使用しています。
皆さんも、どうか耳を傾けてみてください。

私たちへのメッセージに。

「ヒロシマの孫たち」は、
演劇を通して戦争の悲惨さや平和であることの大切さを参加者たちが感じ、考え、伝承するプロジェクトです。
このプロジェクトは、イギリス人のマリーゴールド・ヒューズにより、自身の広島への想いをもとに企画されました。
2014年 彼女は共同演出の秋葉よりえと来広し、呼びかけに 答えた20名の広島の子どもたちとワークショップを開催し、
子どもたちはインタビュー方法について学び、練習と話し合いを行なった上で被爆者の方へインタビューを行いました。
2015年インタビューをもとにつくられた「ヒロシマの孫たち」を演劇という形で初上演することが出来ました。
それ以来、その年々で集まったメンバーで、共に学び、考え、想像しながら、演劇や朗読劇という形で公演をしています。
11年目を迎える今年も新たなメンバーを迎え、地元の若者たち、有志たちで作ります。今年のメンバーでつくられる
「ヒロシマの孫たち」、どのような舞台になっているか、ぜひ足をお運び、観てやってください！
お客様も一体となっての舞台です。

※演劇参加だけでなく、裏方のお手伝いに興味ある方も募集しています。
興味ある方はお気軽にお問い合わせ・ご参加ください。

ヒロ孫メンバー 一同

「ヒロシマの孫たち2026」
◇脚本　瀬戸山美咲 (ミナモザ主宰)
◇演出　宮地 綾
◇美術/フライヤー　ウエダサユリ (unima舎)
◇音響/照明　池田典弘・大田真未
◇制作　田城美怜・小笠原由季恵
◇協力　木谷幸江

ヒロシマの孫たち2015~ プロジェクトスタッフ
マリーゴールド・ヒューズ
ジョナサン・ペサブリッジ
(London Bubble Theatre)
秋葉よりえ
(NPO 法人シアター&
パペットアンサンブルグラシオブルオ)
長谷川康子
ウィルフ・ペサブリッジ (順不同)

ヒロ孫ウェブサイト
www.grandchildrenofhiroshima.com
The Grandchildren of Hiroshima HP

会場地図

(JR 広島駅から)【広島バス】24 号線吉島営業所行、
または吉島病院行 - 加古町下車(徒歩 2 分)
【市内電車】広島港行(紙屋町経由)-市役所前下車(徒歩 7 分)
江波行 — 舟入町下車(徒歩 5 分)
(お車でお越しの方) 駐車場有【20 分毎 100 円】